

PCIの合併症の一つにno flow/slow flowを認めることがあり、このような血流低下は血行動態の破綻を招くことがありえる。

当Groupではno flow/slow flowについて予測と対策に分けて議論された。原因として末梢塞栓、虚血心筋の浮腫、病変遠位部のspasm等が考えられ、その上でまず病歴(ACS、変性SVGgraft)、riskfactor、IVUS所見(attenuated plaque,RCAならVH)よりハイリスクと予測。予防としてはdistal protection deviceの使用があげられた。対策は投薬によるものとメカニカルサポート(IABP、一時的ペーシング)があげられた。投薬は冠血管拡張作用を期待してシグマート、ニトロプルシッド、ジピリダモールを、血圧上昇による冠血流増加を期待してノルアドレナリンがあげられた。また投薬方法も、ガイディングカテーテルからの投与では、正常血管のみ血流を増加させるいわゆるsteal現象をきたす可能性があるため、よりsuperselectiveに投与するのが効果的との意見がみられた。